

今年、ウンケーは8月6日。ウークイは8日です。年に1回、亡くなられた人たちが家のお仏壇にウンケーして、家族みんなで感謝した後、またウークイします。

お仏壇にはちようちんとカウーシ(サトウキビ)

年に1度先祖を迎え感謝

が飾られます。ちようちんは、飛行場にある滑走路のライトのような意味があるんだって。「ご先祖様、こっちだよ」って感じで、わが家のお仏壇にちやんとお迎えできるようなする目印なんだね。ウーシは亡くなられた人たちが

縄ではサンは刀とも考えられています。つまりバチで太鼓をたたくということは、刀を振り回しながら、亡くなられた人たちをマジムンから守っていることにもなっているんだって。

帰依住職がチョンダラー

やっていると、たまに勢いあまったニイニイたちに、バチでたたかれることがあります。これが本当の「バチが当たる」だったりして。おいおい、おれはマジムンじゃねえっつーの。

イツペー チビラーサン

(とても素晴らしいね)！
ところで帰依住職は、

沖繩市・諸見里青年会の

チョンダラー(京太郎)

です。お盆に踊られるエイ

サーのとき、太鼓をたたく

細長いバチがあるでしょ

う。あれは、サンをイメー

ことば

サン：ススキなどを結んだ魔よけの道具。桑を加える地域もある。

マジムン：魔物、悪魔。

ハイサイ！ 今回のテーマはお盆。お盆って、お仏壇の果物やお菓子(お下げ)をウサンデー(お下げ)したとき、お皿の中に分けて食べるから、分ける皿で「盆」と呼ばれるようになったって人がいます。

本当はその昔、中国の盂蘭盆会という年中行事を、日本では短く「お盆」と呼んだことがきっかけになっているんだって。今から2500年前、目連さまというとてもえらいお坊さんが、餓鬼道という迷いの世界で苦しんでいた、自分のお母さんを助けたことから始まっています。

さて、沖繩では、お盆で

